

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
コンサートプロダクト1 舞台コース											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	田城 佳子			実務 経験	無	職種					
授業概要											
<p>基礎実習ローテーション期間中は基本的な舞台の役割を理解し舞台機構や作業ロープの結び方、幕の吊り方、ドラムのセティング、トラスの組み立て、吊り込み、山台の作製などを学ぶ。コース選択後はコンサート舞台スタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しく役割や仕事の内容を理解し、実習ライブを通じて舞台進行やローディなどを実践してゆく。</p>											
到達目標											
<p>●舞台の名称、用語を理解できる。●各セクションの流れを理解し、タイムテーブルの作成、図面作成、進行表の作成ができる。●舞台を安全に進行する。●ドラムセットのセティングができる。●楽器の基礎知識を習得し、各種アンプの種類、名称が理解できる。●イントレの名称、組み方を理解し安全に組めるようになる。●箱馬、平台を使って山台の作製ができる。</p>											
授業方法											
<p>基礎実習ローテーション期間中は基本的な舞台の役割を理解し舞台機構や作業ロープの結び方、幕の吊り方、ドラムのセティング、トラスの組み立て、吊り込み、山台の作製などを学ぶ。コース選択後はコンサート舞台スタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しく役割や仕事の内容を理解し、実習ライブを通じて舞台進行やローディなどを実践してゆく。</p>											
成績評価方法											
<p>*課題や、イベント後のレポートを評価する。 *本番実習での協調性、積極性、理解度にて評価する。 *積極的な授業参加、協調性、授業態度によって評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。</p>											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	基礎実習①：舞台の仕事を理解し、舞台の機構、ロープの結び方、幕の吊り方を出来るようにする。										
第2回	基礎実習②：舞台の一日の流れを理解し、作成資料を理解する。										
第3回	基礎実習③：ローディーの仕事を理解し、楽器・ドラムの名称、Amp、ドラムのセティングを出来るようにする。										

第4回	基礎実習④：トラスの組み立て方を理解し、安全に組み立て、吊り込みが出来るようにする。
第5回	基礎実習⑤：箱馬、平台を理解し、山台の作製が出来るようにする。
第6回	基礎実習グレード試験：[舞台] 箱馬、平台を使ってドラム台の作製が出来る。
第7回	基礎実習グレード試験：[PA] ケーブル巻が出来る。
第8回	基礎実習グレード試験：[照明] 吊り込み、回路取りが出来る。
第9回	コース別実習開始 基礎実習復習：基礎実習①～⑤の復習
第10回	タイムテーブル・進行表・立ち位置図面の作成（手書き）：イベント①へ向けて、タイムテーブル、立ち位置図面、進行表の作成を出来るようにする。
第11回	道具図面の作成（手書きにて）：イベント①へ向けて、平面図、正面図、立面図を理解し、道具図面の作成を出来るようにする。
第12回	各セクションの流れを知る：イベント①へ向けて、他セクションの流れを理解することが出来る。
第13回	イントレの名称・組み方①：部品を理解し、安全に組み立てが出来るようにする。
第14回	イベント① (Voチャレンジ本番①)：イベント①へ向けて、タイムテーブル・進行表に沿って、進行出来るようにする。
第15回	イベント① (Voチャレンジ本番②)：イベント①へ向けて、タイムテーブル・進行表に沿って、進行出来るようにする。